
only me 俺
R18
ADULT ONLY
だけの
Omega
のうもみ
oumomi



俺だけのΩ

本編・・・5

おまけ・・・59

あとがき・・・70



そして今日
βになった

山村恵太
さん

あなたの
バース性が
βに
変異しました

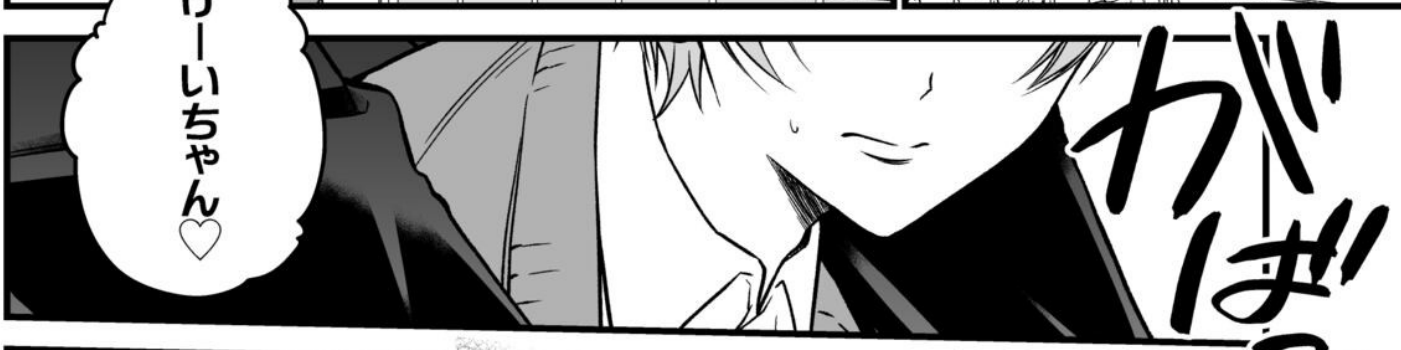


今日から普通の人だ!!

…といっても

学校ではβで通していたから…

特に変化はないんだけどね





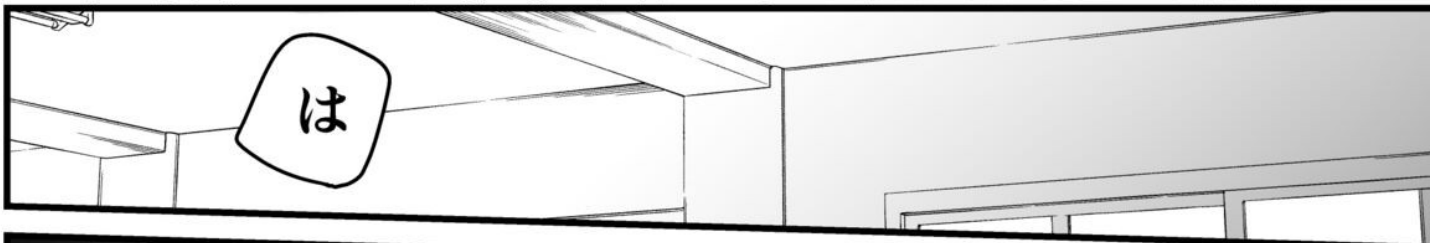





は…？
なんでΩのニオイ消えてんの？
まさか誰かと番った？


僕はもともとβだから…
恵太はΩだろ
αの俺が見抜けないとでも思ってんの？
これがαの圧力
抗えない…！
か


変わったんだ…
Ωから…
βに…


は


ちゃんと段階踏んで番になろうと思ったのに
バース性が変わったって？
マジ笑えねー


あはははは
まあ
でも


忘れたなら
思い出せば
いいよね
ぐいっ
ちゅっ
ちょ
あっ
や
んっ
ちゅくっ
やめて!!
どうして
こんな
こと…


恵太のことが好きだから
す…き…？
だからΩに戻して
番になろうと思って
ちゅっ
あっ
何この甘い香り
さあ思い出して


考えがまとまらない…
自分の本能を
αに抱かれたいって
グイッ
まるで溶けていくみたいだ


ちがう…
僕は…
Ωじゃ…


恵太はΩだよ
俺だけのΩ


キーンコーン
カーンコーン…
ホームルーム
始まるから!!
はっ
ヤバッ!!


何なにナニ!?
今の何だったんだ…!?

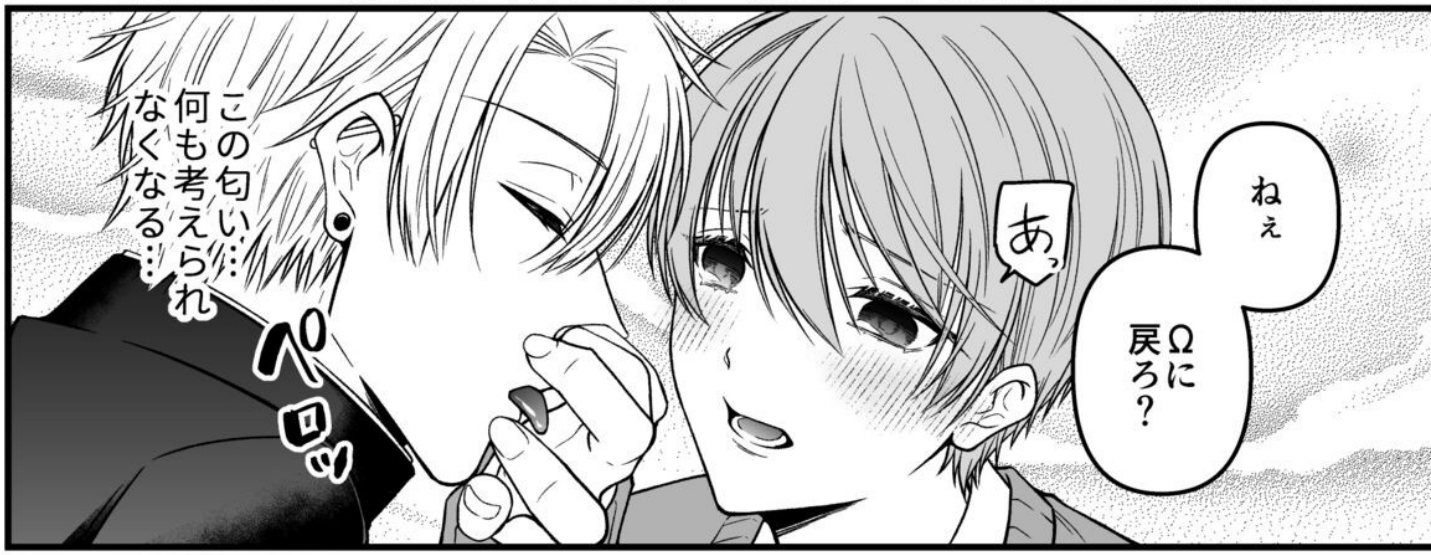

一条くんにキスされて
好きだって言われて
そして
ボッ
よし!!
これから一条くんのこと避けよう!!
身の安全第一!!
もう関わらない事が一番安全だ!!


カァー
カァー
よし！
放課後だ！
あとはもう帰るだけ！
ザワ
ザワ
恵太ー
今日どこか寄ってく？
あ、
今日は——…
けーいちゃん♡


Aの圧力
遊びに行こ？


あはは！
何もしないからさあ
はっ
はい…


カラオケ大広場
何もしないって言ったじゃんかあ!!
ぐぐぐ
ぐっ
馬鹿正直に信じるけいちゃんかーわい♡


ねぇ
Ωに戻ろ?
あっ
この匂い…何も考えられなくなる…
ペロッ


ダメだ気をじっかりもたないと
一条くんって欲しいもの何でも手に入るでしょ?
僕じゃなくても…
俺だって手に入らないものだってあるよ
え…?

運命の番♡

もしかして茶化してる？

じと…

いや冗談じゃなくてマジで

それが恵太だって

思ったんだけどな

―それは…

ピーロリロ♪

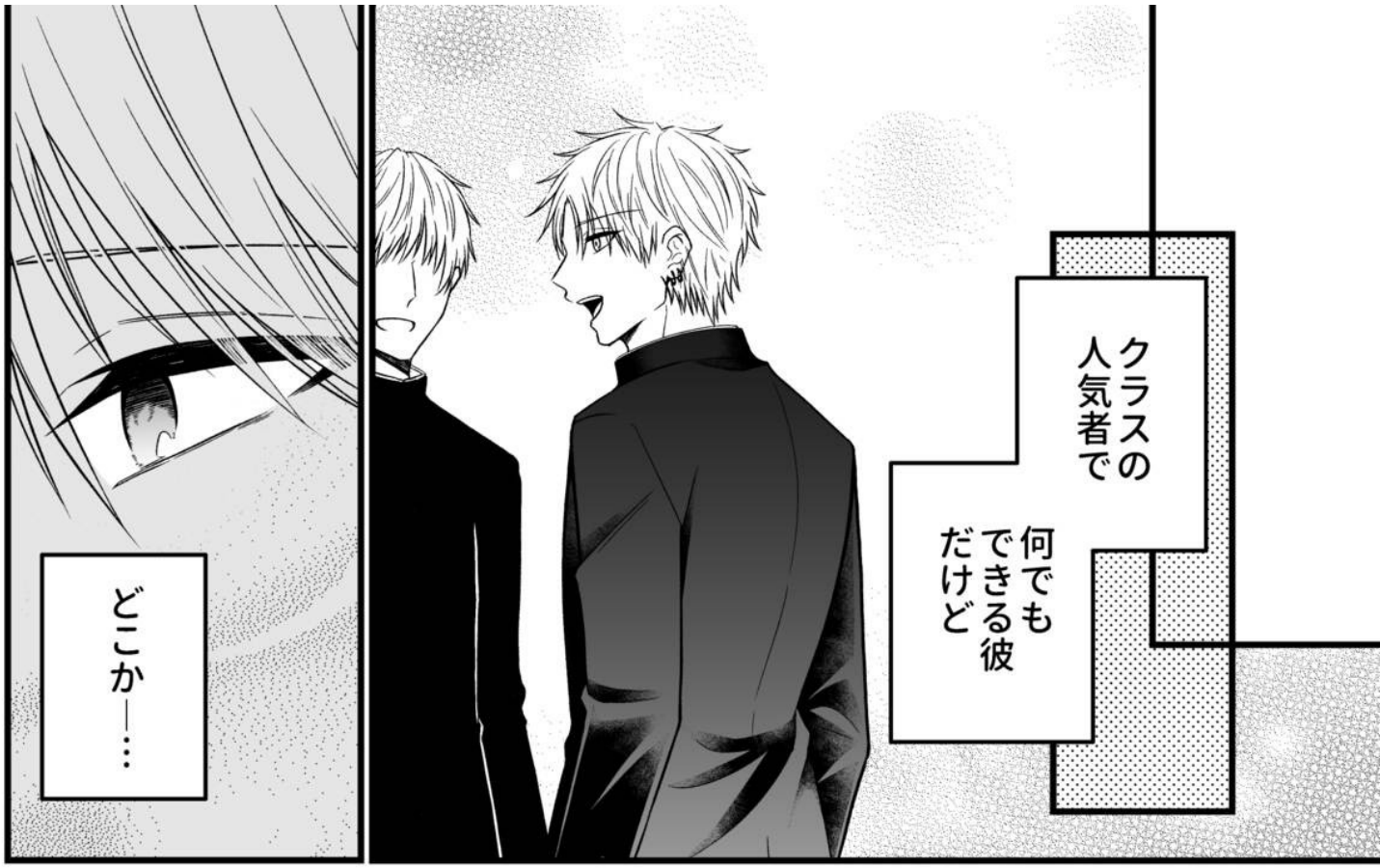
ビクッ

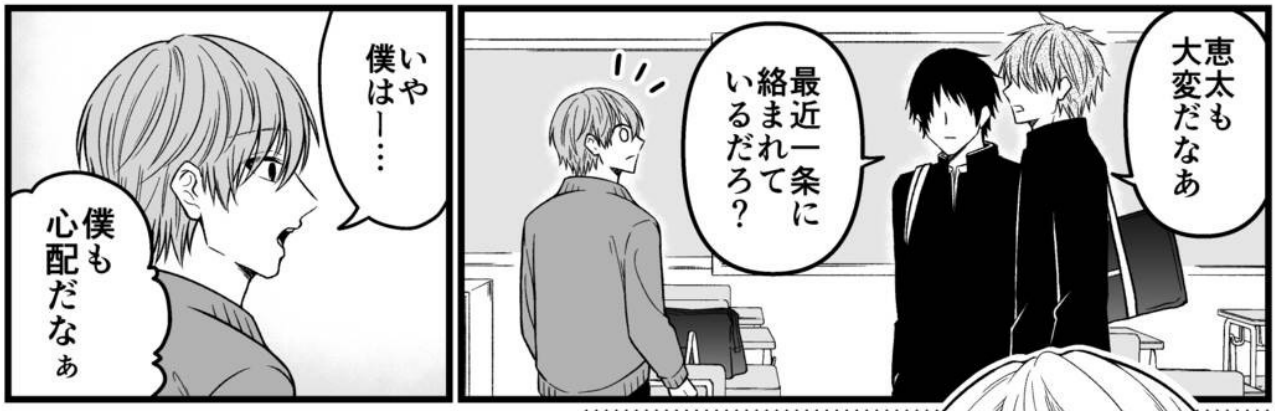
終了まで残り15分です
延長する場合はご連絡ください

あっもう時間だ！

延長でしないから!!

不思議な人だと思った


クラスの人気者で
何でもできる彼だけど
どこか――…


恵太も大変だなあ
最近一条に絡まれているだろ？
いや僕は――…
僕も心配だなぁ


同じ中学校だったんだし
なんでも相談して？
かわいい…
さすがΩ…
宮内澪くん…


宮内くんは
僕の本当の
バース性を
知っている―…
何αに
媚び
売ってんの？
出来損ないの
Ωのくせに


っ…
けいちゃん
帰ろー
ごめん
今日病院
行かない
と…


分かってるよ
自分が
劣っている
こどぐらい
そもそも
僕はもう
Ωですら
ないと
いうのに


青十字病院
うーん…
数値が不安定になってますね
あの…


僕がΩに戻る可能性はありますか…？


そうですね…
正直に言うとその可能性はあります
えっ
君は今やじろべえのような状態です
αに関わることが多ければ
αに影響されてΩへ偏っていく


これを機にしっかり考えてみるといいですよ
βになるのかΩに戻るのか
僕がΩになったってきっと誰も…
まあでも
トントン
山村さんはフェロモンの影響を受けにくい体質ですから
急にΩに戻ることはないと思いますよ
それこそ運命の番が現れない限りはね
あれ…？
じゃああの甘い匂いはー…？
だからと言って性行為はダメですからね！
はい…


って言われていたのに…
早くも貞操の危機―!?
一条くん!?

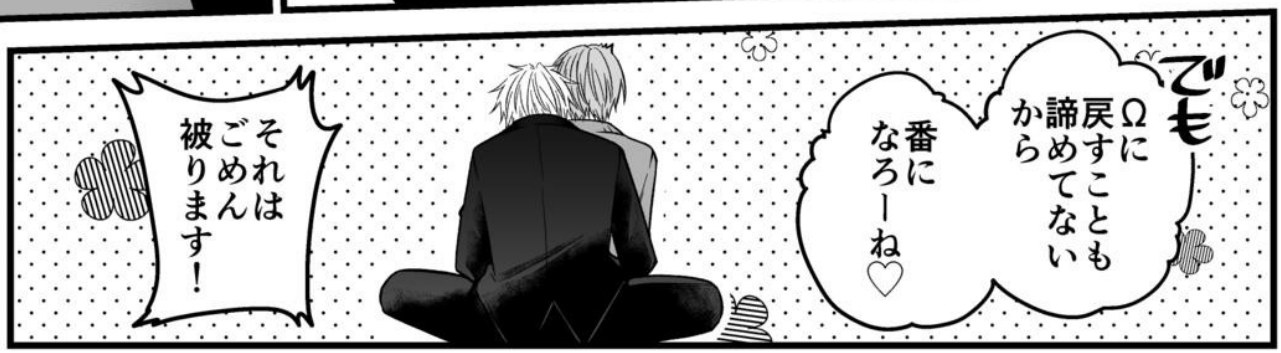

ごめんもーちょいこのままで
薄いけど…恵太のフェロモンなんかな?
嗅いでいるとたまらない気持ちになる


だから匂いがなくなった時マジで焦ったあの時の…
一条くんはさ…
僕のどこを好きになったの?


αを特別視しなかったところ
え？
どいつもこいつも俺にへりくだる学校で
ちゃんと授業受けないとダメだよ
一条くんイヤホンから音漏れしているよ
恵太だけが物怖じせず注意してくれた
それが心地よかったんだ
―ああだから


だからいつも
少し寂しそう
だったんだね
それはきっと
皆から一線を
引かれていた
から
君の悩み
全てを理解
することは
できないけど
話を
聞くぐらいなら
できるからさ
僕でよければ
いつでも話を
聞くよ


あーもう
本当に
大好き!!
ぎゅうう
わっ!?
Ωじゃ
なくてもいい…
俺と
一緒に…


でも
Ωに
戻すことも
諦めてない
から
番に
なろーね♡
それは
ごめん
被ります!


…と
言いつつも
まっすぐに
好意を
伝えてくる
一条君に
少しずつ
惹かれている
僕がいる


キーンコーン
カーンコーン…
あれ…？
一条くんと…
宮内くん？


どうして二人でー…
…なんだか


嫌な予感がする…
資料準備室
あのね僕…
一条くんの事が好きなの
宮内くん一条くんのこと…!!
僕と付き合おうよ
あんな出来損ないのΩより僕のほうが君に似合うと思わない？
そうだよ…出来損ないの僕なんて…


ガシッ
ゼロッ


さっきから臭いフェロモン撒き散らしてさぁ
すげぇ不愉快近づかないでくれる？
つーか俺がお前如きで発情すると思ってんの？


俺のことを上質なαとして見てる時点で論外なんだよ
ゼロッ


君みたいなαと釣り合えるのは僕ぐらいしかっ…！


恵太は違った
俺の本心を見抜いて寄り添ってくれた
だから俺は好きになった
ああ…どうしよう…
Ωとか男とか関係ない
恵太だから一緒にいたい
俺は恵太を愛している

僕
一条くんのことが
好きだ



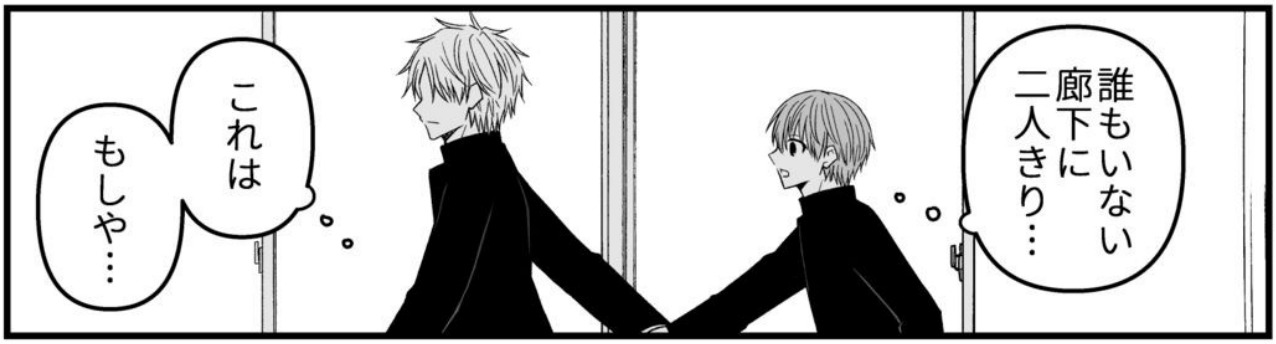
バース性も
性別も
関係ないって
ありのままの
僕を好きだって
言ってくれる

そんな君が
どうしようもなく
好きだ


君が望むなら
僕は――…
けいちゃん？
ビクッ
あっ
こんなところでどうしたの？
ぎゅっ
たまたま通りがかっただけで!!
あれ、泣いてね…？
ギクッ
気のせいだよ!!
ギリッ

あの一件以来
僕は
ズ…
一条くんとうまく話せないでいる
顔を見るとテンパってしまって…
ちゃんと一条くんに好きだって伝えたいのに…
ハァ…
難しい顔してどうしたの？
何事も当たって砕けろだよ
甘いもの食べて元気だぞ？
宮内くん…
あまい…
勝手に苦手意識を持っていたけど…
そんなに嫌な人じゃないのかも
けいちゃーん

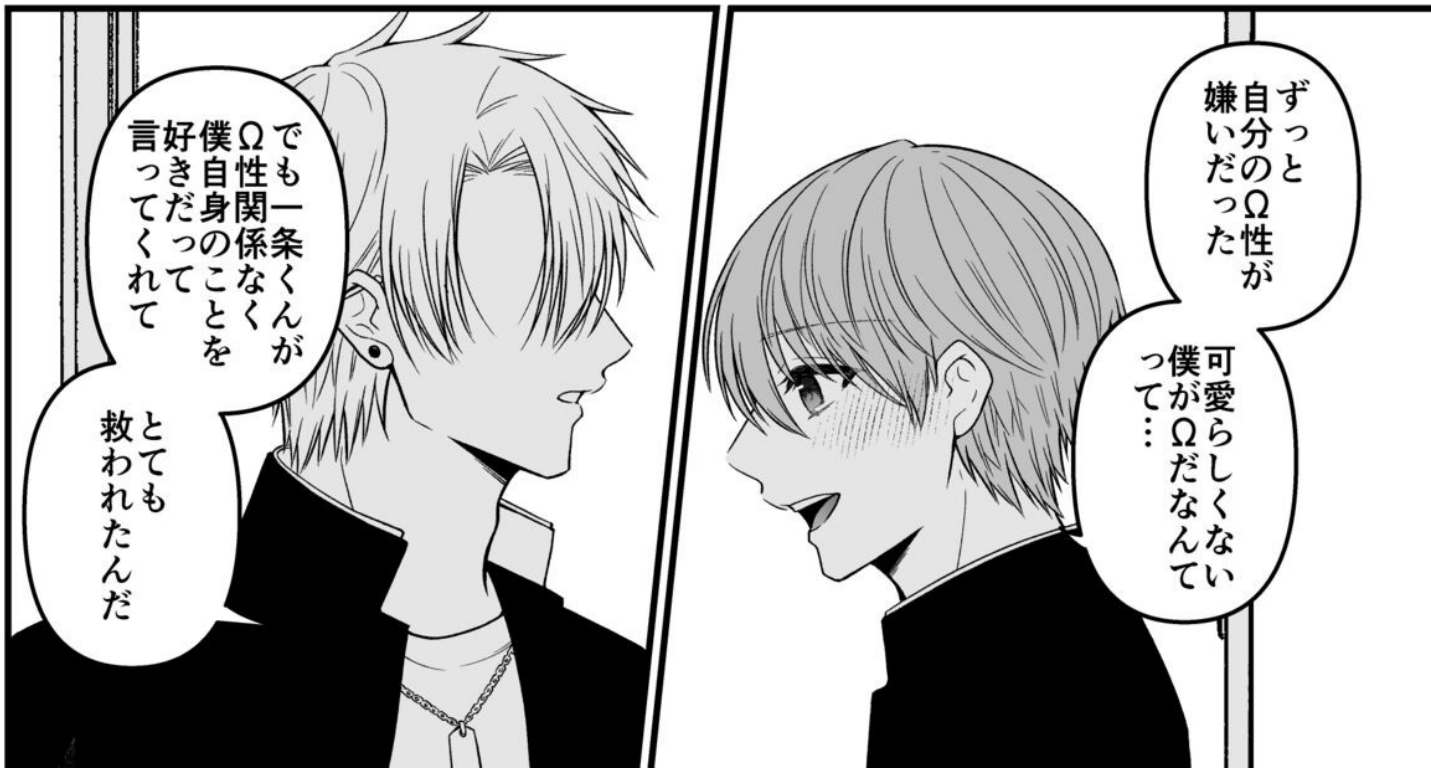

恵太
こっち
来て
いいから
えっ
どうして
…？
…!?


誰もいない
廊下に
二人きり…
これは
もしや…


告白する
チャンス
なのでは!?
一条くんは
あんなに
かっこよく
想いを告げて
くれたんだ
僕も
僕だって
この想いを
ちゃんと
伝えたい
あのっ
一条くん！


一条くんのことが好きっ…！


え…？
あのね…


ずっと自分のΩ性が嫌いだった
可愛らしくない僕がΩだなんてって…
でも一条くんがΩ性関係なく僕自身のことを好きだって言ってくれて
とても救われたんだ

αとβじゃ
報われない

それ
だったら
僕は




…恵太
発情
しかけてる
早く
シェルター
に
逃げろ


発情…
僕Ωに
戻った…？
一条くんっ…
近寄るな!!
「さっきから
臭いフェロモン
撒き散らして
さぁ」
「すげぇ
不愉快
近づかないで
くれる？」
あ…


僕のフェロモン
そんなに嫌…？
ガ!!!
恵太!!
Ωになっても
好きな人に
受け入れて
もらえないなんて
ああ
僕は
どこまで
いっても
出来損ないの
Ωだ

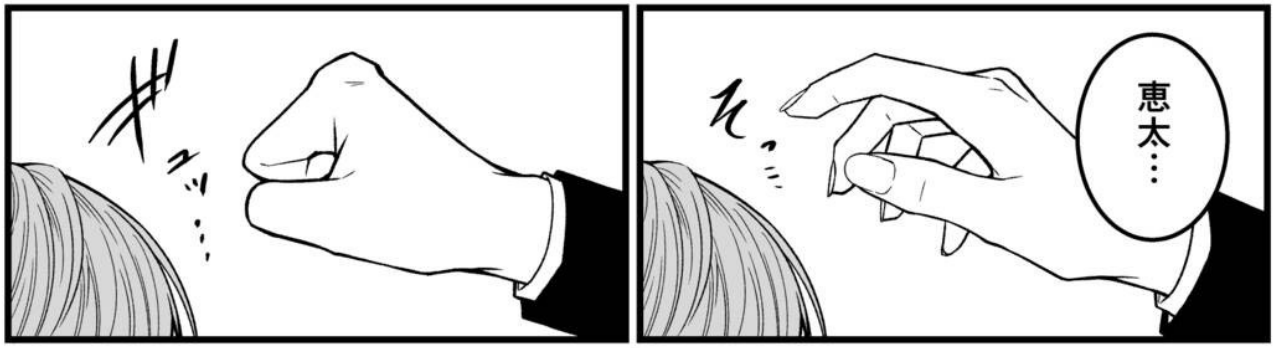

Ωに戻った意味なかったな…
キーンコーン
カーンコーン…
体が熱い…
これが発情期…
いたいた
宮内が言ってたのこいつだろ
っ…!?
発情剤飲ませたΩって
発情剤…？
なんのこと…？


いーや
こっちの話
それより
発情
辛いでしょ？
やだ…
やめっ…
俺達が
相手して
やるよ
いやだ
つーかこれ
本当に発情
してんの？
フェロモン
分かんねぇし
萎えるわー
ちがう
まあこいつ
ヤッたら
宮内が相手して
くれるつったし
こわい
こわい
助けて
一条くん!!
ヒュッ


ヤカッ
ゴッ
あっ
一条くん…？
佐藤信夫
中村和
そして
宮内澪


テメェらは
絶対
地獄に
落としてやる
なんで…
うわぁぁ
恵太
こっち
えっ…
39


ここにいれば
もう大丈夫
だから
ありがと…


恵太…


それじゃ…
待って!!
僕のこと…
嫌いに
なった…?


違う!!
我慢できないんだ!
お前と一つになりたいって本能が求めてる!!
やっぱり恵太は俺のー!!
…よかった嫌われてなくて


本当はね憧れていたんだ無条件で愛されるΩに
僕も…そんなΩになりたかった
もし僕だけを愛してくれるのなら


君だけの
Ωになる

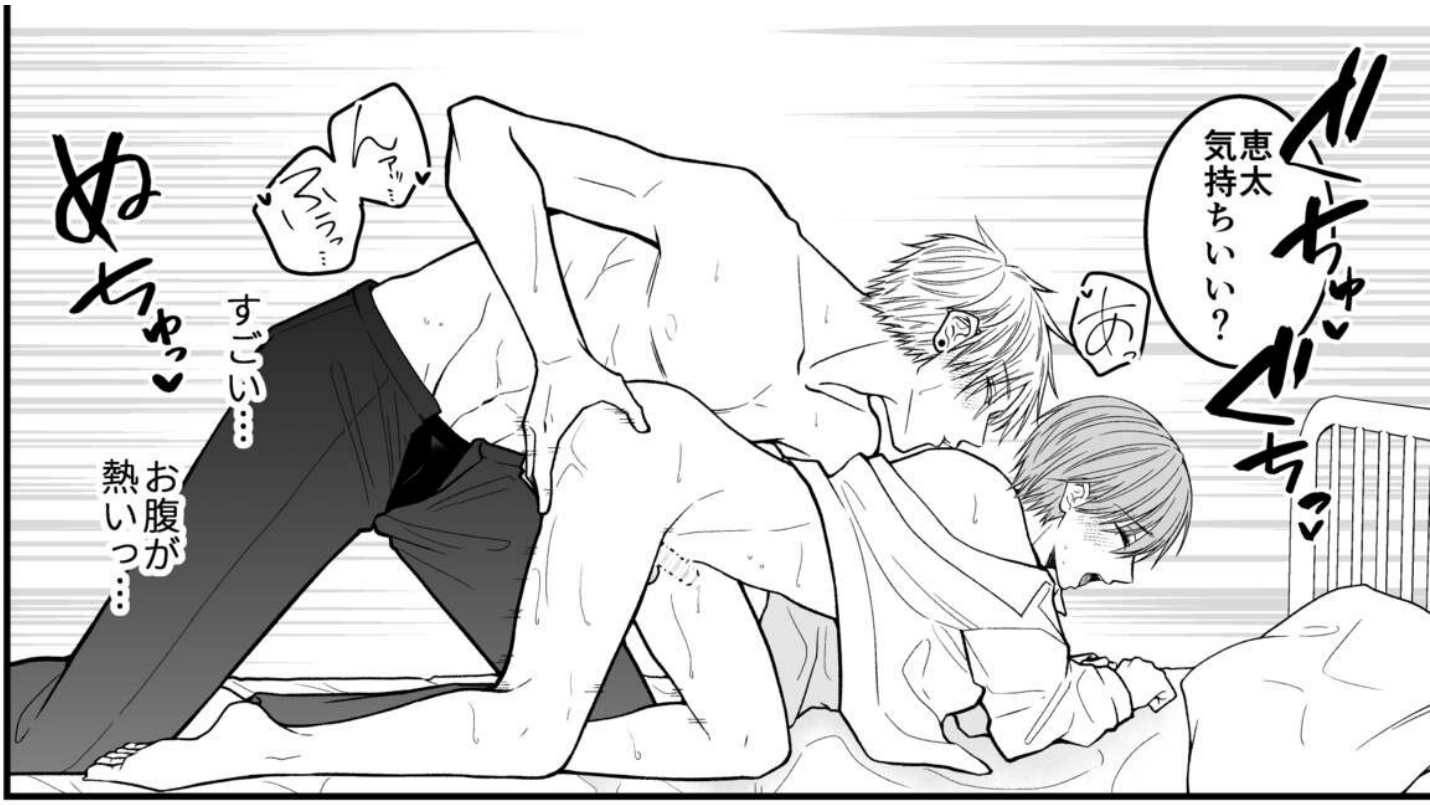

一生かけて
恵太だけを
愛すから
俺だけの
Ωになって
うんっ


約束――…
…本当にいいの？
怖くない？
さっきのこともあるし…
大丈夫
それより一条くんだけのΩじゃなくなる方が
怖いから
かわいすぎる…
ぴっ


優しくするから俺に身を任せて？
ちゅ
んっ
あっ
ちゅっ
恵太あいつらに触られたところどこ？
お腹とか…
乳首とか…
分かった
ぺろっ
ひえっ!?
何を!?
何って…


俺以外の野郎に触られてんのが許せねぇんだよ
ハイ…
だから上書きする
あっ
あの人達と全然違う
ゆっくり
ドクッ
あっ
気持ちよくて
どうにかなりそう


恵太
気持ちいい？
くいっ
もう
こんなに
なってる
ぴっ
ああぁ
言わなくて
いいから！
じゃあ
ズボン脱いで
後ろ向いて
初めは
バックが
いいからさ
キツく
なったら
言って
う…
うん…
トロトロ
…
濡れてるの
分かる？
くぱぁ
Ωって
本当に
濡れるんだ…
息を
抜いて…
ズプ


恵太
気持ちいい？
あっ
ぬちゃっ
すごい…
お腹が
熱いっ…


ひあっ
クソッ
恵太
ごめん
もう
我慢
できない
怖く
なったら
逃げて
一条くん…

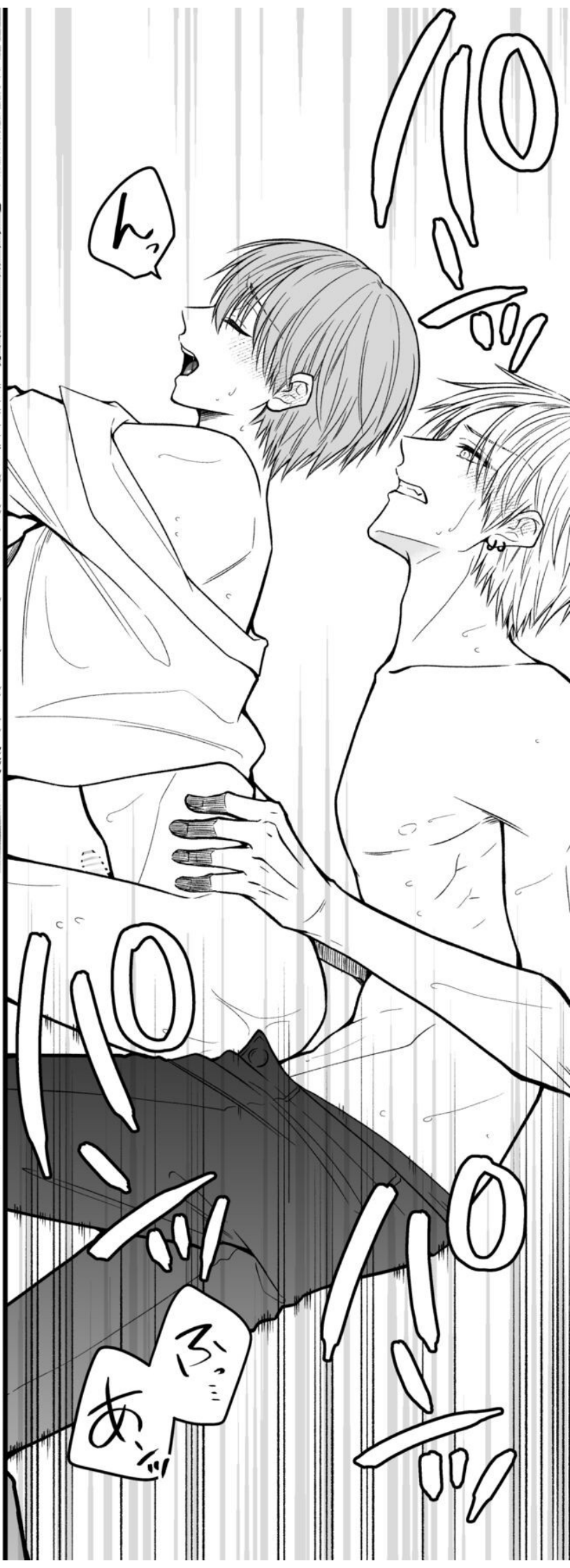

自分だって
相当辛い
はずなのに
どこまでも
僕を
思ってくれる
なんて…
そんな
君が僕が―…
怖くない
よ
君のことが
大好きだから
スル…
早く
番になろ？
恭也くん


ずちゅんっ♥
あぁっ♥
ビクンッ
あつい
ポタ
ポタタッ
あつい
体があつい
恵太
ビクッ♥
はぁ…っ♥
こんなの知らない
ビクッ♥
体がおかしくなったみたい…
はぁ…っ♥


ん
ふ
ちゅっ
ちゅっ
恵太が煽ったんだから責任取ってよ？



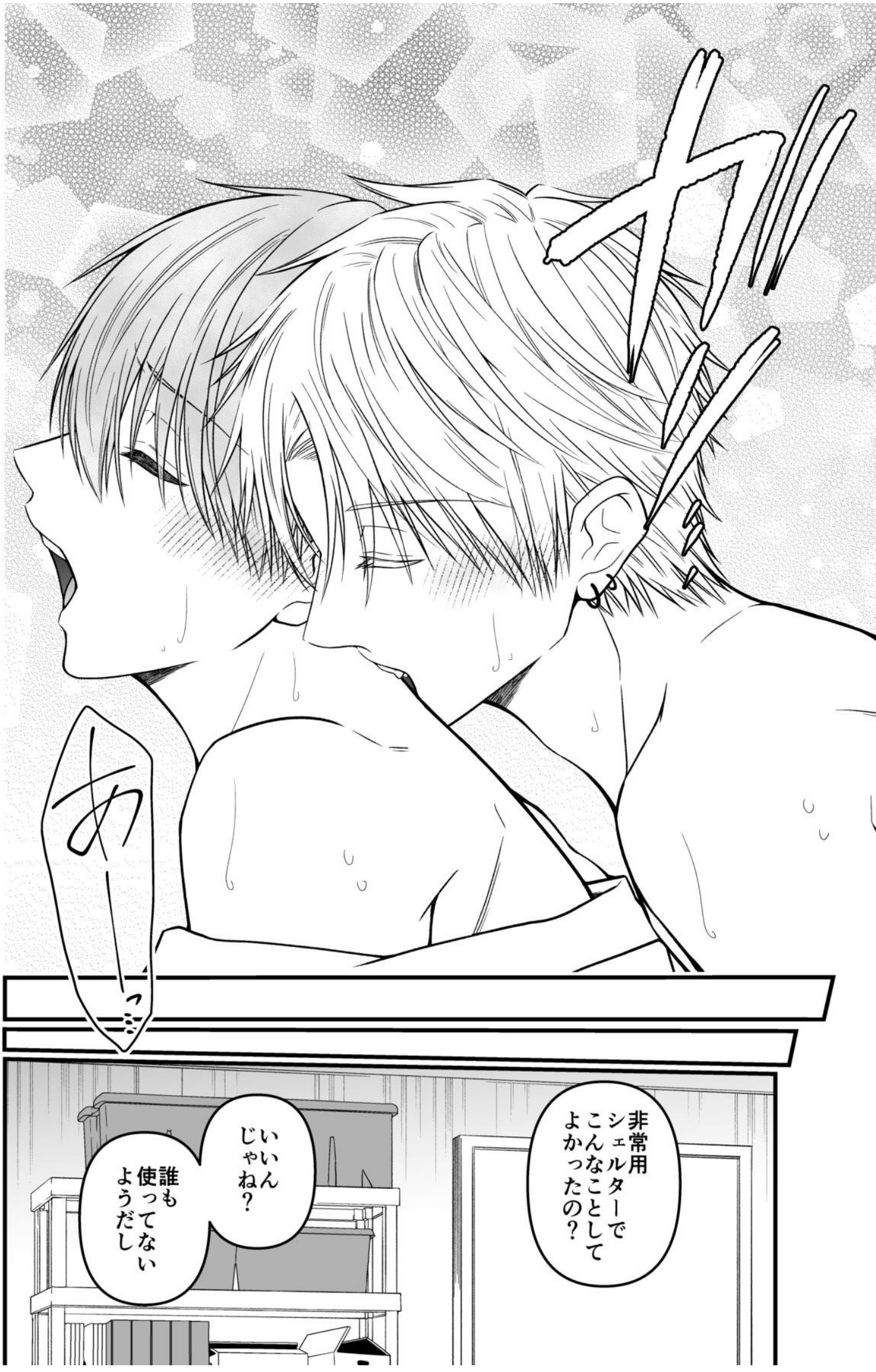




まるで
欠けていたものが
満たされるような

恵太


うなじ
噛みたい
噛んで
いい？
やっと
一つになれる
うんっ


あっ…
非常用シェルターでこんなことしてよかったの？
いいんじゃね？
誰も使ってないようだし


はー…
運命の番
分かんなかったとか
情けなさすぎる…
仕方ないよ
僕のバース性
不安定だったし
それに恭也くんは
ちゃんと気づいて
くれたよ
僕が
Ωだって
分かったの
恭也くん
だけだもん
これからも
僕を
見続けてね？
ああ
もちろん―…

もうΩだって隠す必要はない

えっ!?

恵太ってΩだったの!?

実はそうなんだ

ちょっとー

俺の恵太に話しかけないでくれるー?

のしっ

もー

恭也くん学校でそういうこと言うのやめてって言ったでしょ

は!?

俺のって…!?

ひみつ

ヤキッ


恵太
俺以外と仲良くしないで
あはは
それは無理だよ
はー…
もう本当心配
番ってから一段と可愛くなってんだもん


そんなに心配しないで


僕はΩだから君だけの

一条　恭也

8月15日生まれの16歳
獅子座
B型

実は大企業の御曹司
しかし本人は継ぐ気もないし
両親も継がせる気はない

山村　恵太

1月31日生まれの15歳
水瓶座
A型

ごくごく普通な
βの一般家庭育ち
Ωになったのは
隔世遺伝(曾祖母がΩ)




おまけ
一条家へ訪問！
なんつーか…
溺愛されてるな…
恵太のこと見ないでくれる？


まぁ…
これは僕のせいでもあるから…
俺らめっちゃ警戒されてるよね
何があったかは聞かないけども


恭也くん僕の友達と仲良くなってほしいな
恵
恵太が言うならそうする♡
恭
最早猛獣使いじゃん
友人
それより恵太覚えてる？
え？
今週の土曜日のこと

俺ん家来るって約束のこと

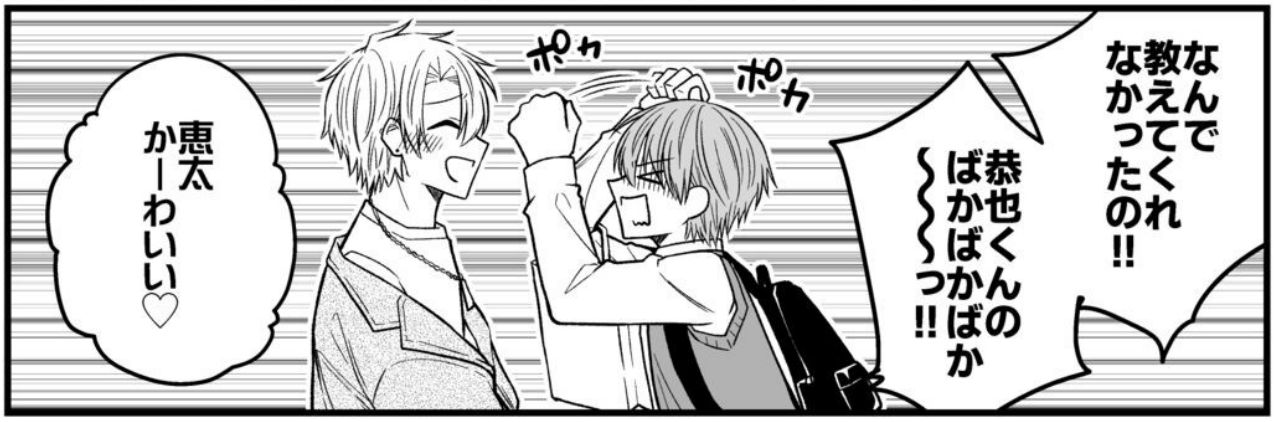
土曜日

…ニ





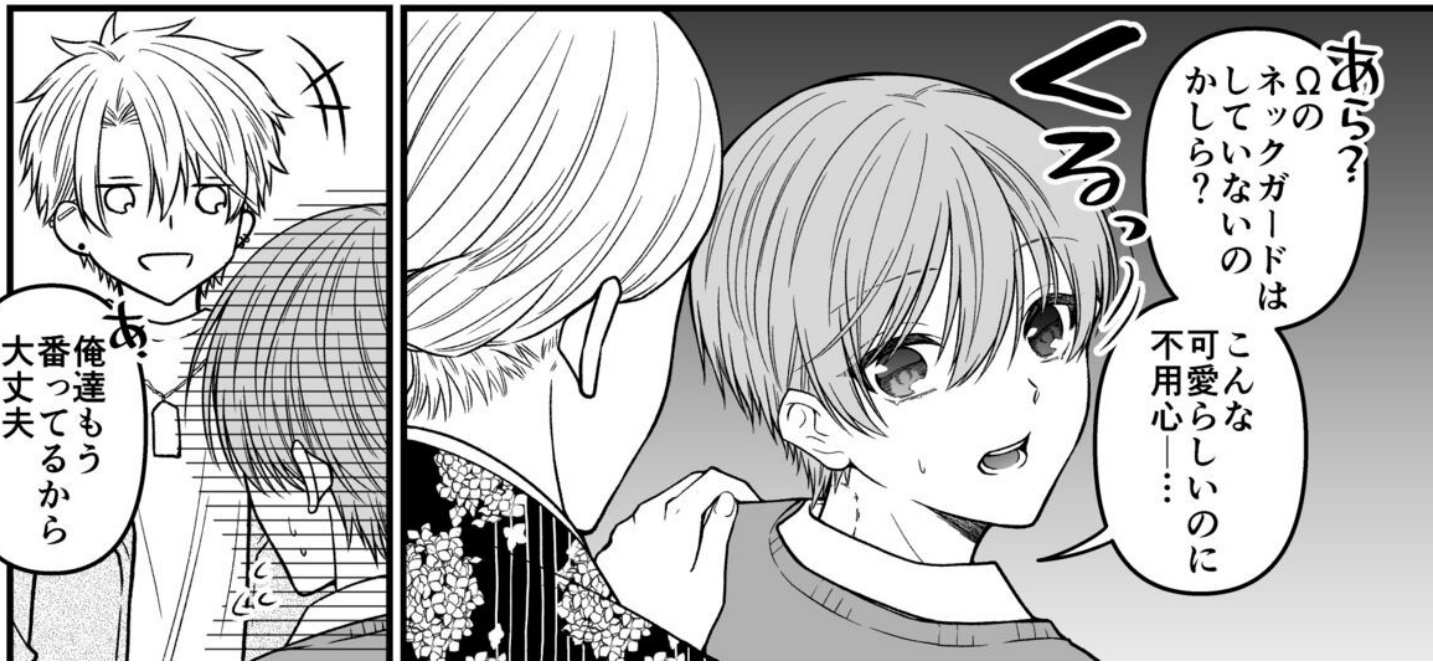

もしかしてあの車とか作っている…？
そうそう
そこの創始者が俺ん家なの
大企業じゃないかーっ!!


なんで教えてくれなかったの!!
恭也くんのばかばかばか〜〜っ!!
ポカ
ポカ
恵太かーわいい♡


どうしよう…まともなお菓子持ってきてない…
大丈夫だって
二人ともそういうの気にしないし
やっと来たわね！


ようこそ
一条家へ
父さん
母さん
ヒソッ


おおお
おはつに
おみえにっ
カタ
カタ
あなたが
恵太くん
ね!?
話で
聞いていた通り
可愛らしい子
だわぁ〜


あら?
Ωの
ネックガードは
していないの
かしら?
くるっ
こんな
可愛らしいのに
不用心—…
あ
俺達も
番ってるから
大丈夫

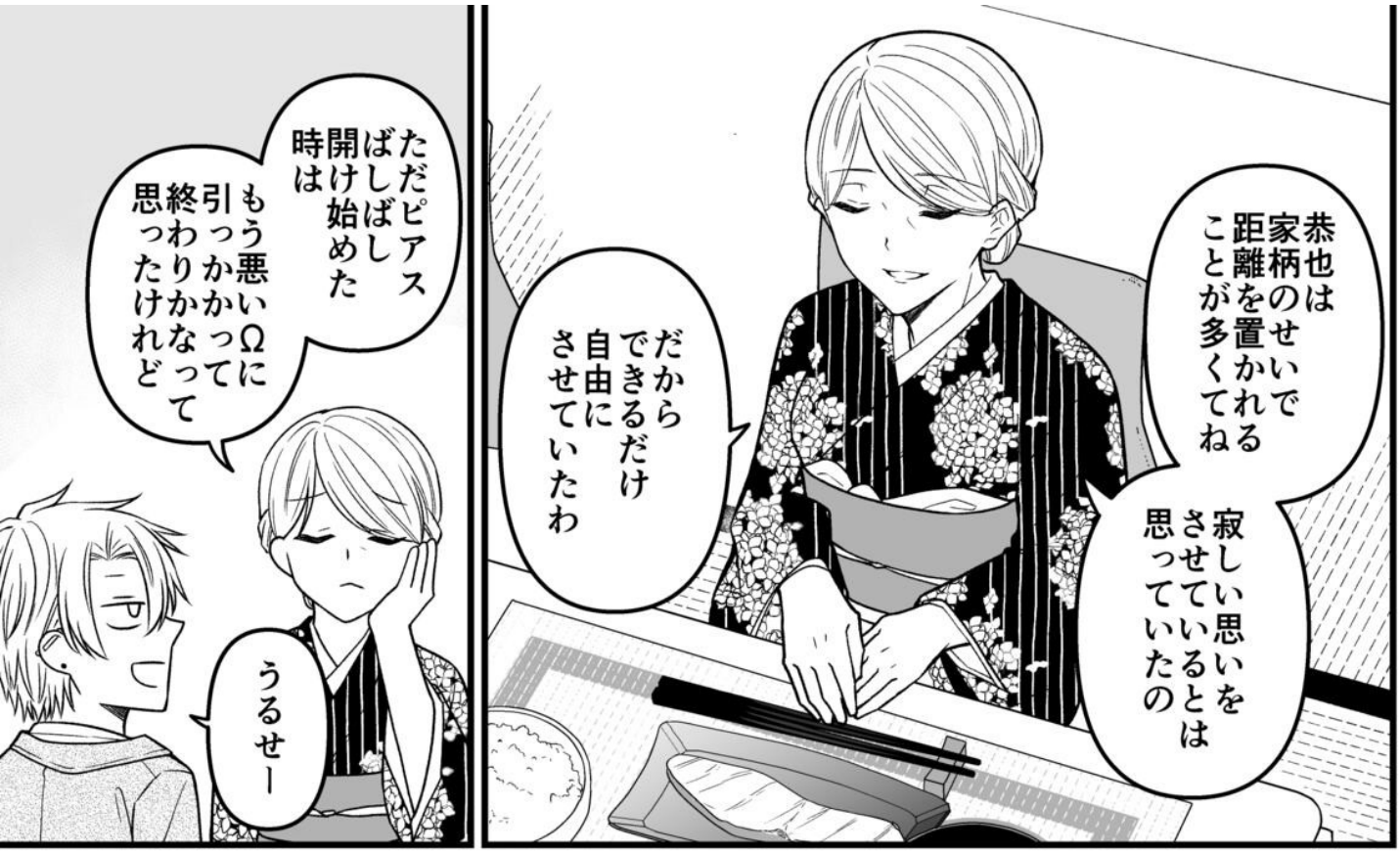

高校卒業まで
手ェ出すな
つったろーがよォ…
母上
元ヤン
出てるぅ
あらやだ
私ったら
違うん
です!!

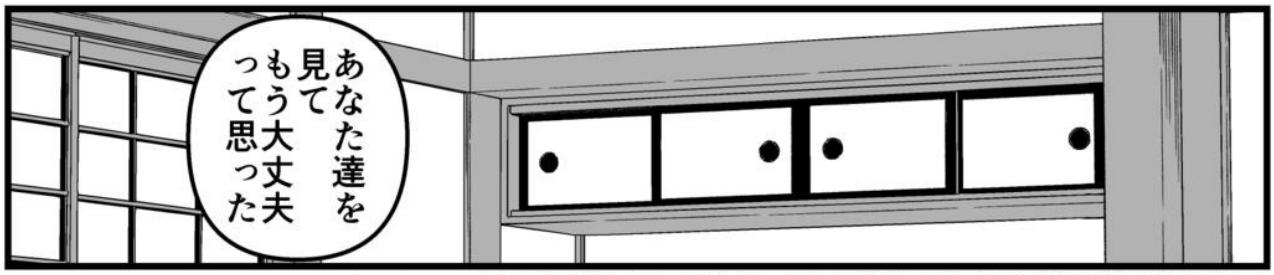

僕が
学校で発情
しちゃって!
暴漢に
襲われたん
ですけど
恭也くんが
助けてくれて!
そこで
耐えきれ
なくなった
僕が誘った
というか!!
つまりその
全ては
僕のせい
なんです!!

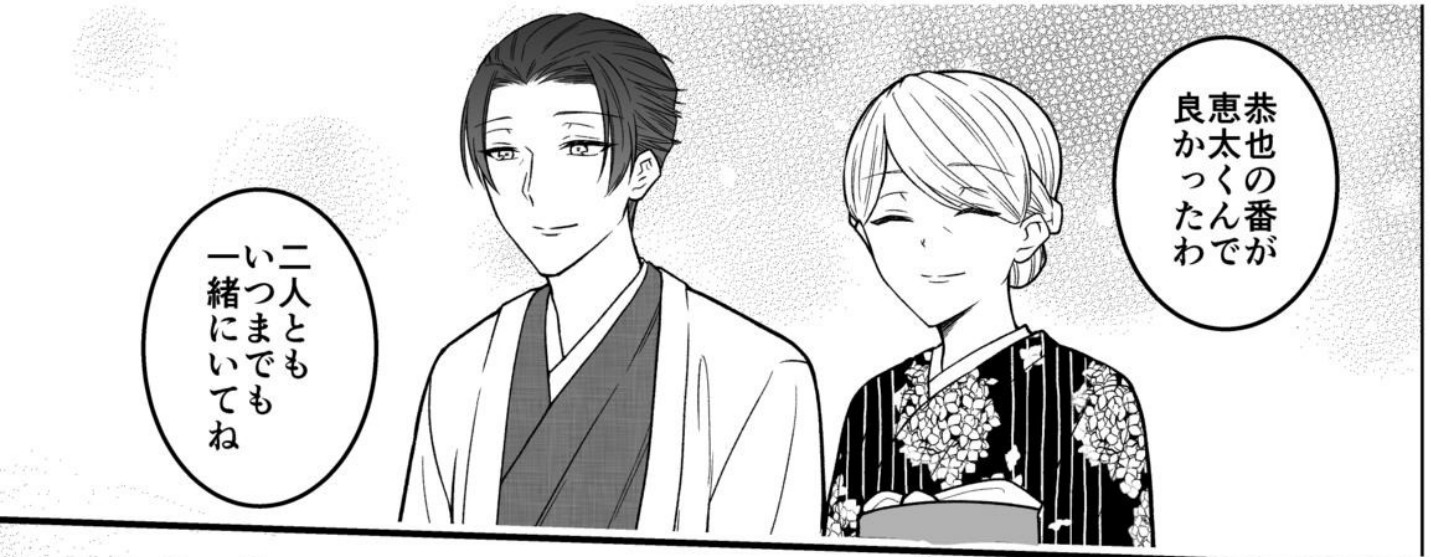

…そいつら
社会的に
殺した?
もちろん
父さんに
手伝って
もらった
えっ!?
えっ!?
ならよし


ごめんなさいね～
恵太くんが可愛いからテンション上がっちゃって
いっいえっ
響も恭也もαでΩは私だけだから寂しくって～
響さんって…


イギリスに留学されているお姉さんですよね？
一度お会いしてみたいです
俺は合わせたくないし会いたくないなー
恭也くん実のお姉さんでしょ…
恵太くんには家族のことをちゃんと話しているのね…


恭也は家柄のせいで距離を置かれることが多くてね
寂しい思いをさせているとは思っていたの
だからできるだけ自由にさせていたわ
ただピアスばしばし開け始めた時は
もう悪いΩに引っかかって終わりかなって思ったけれど
うるせー


あなた達を見てもう大丈夫って思った


恭也の番が恵太くんで良かったわ
二人ともいつまでも一緒にいてね


はいっ



とても
素敵なご両親
だったね

…俺さー

一条家の
ご子息って
言われる事が
嫌でさ

恵太に
実家を教えて
なかったのも
そのせい
なんだ

こんな
俺の気持ちを
慮ってくれて

自由に行動
することを
許してくれた




それに
ぐいっ
恵太とも番になれたし
ごっ
ご両親がいるのにっ
俺の部屋に来たのに何もしないはないっしょ？
恵太
目を閉じて――…

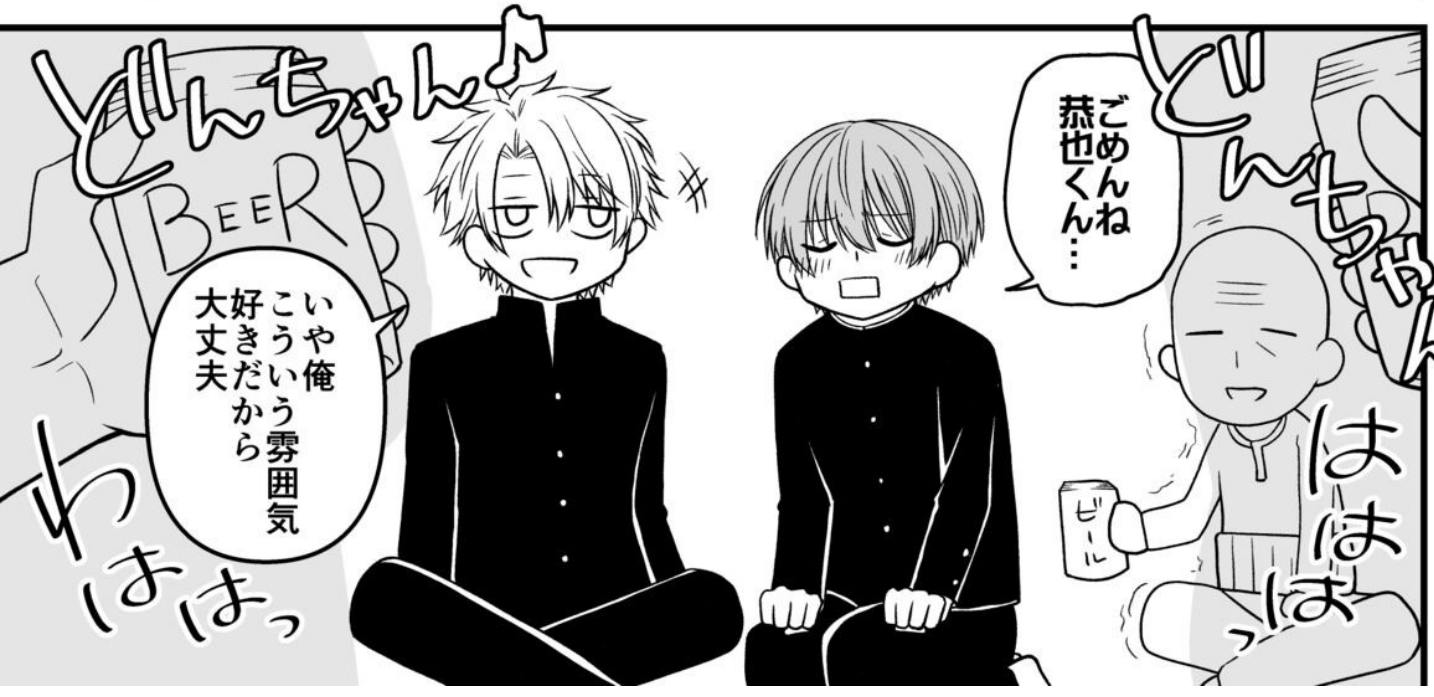

ガチャッ
子作りは社会人になってからよ？
やっぱうぜーわー


帰る際すごく惜しまれた
恵太くん帰らないでほしいわ～っ
けいちゃん俺の家で一緒に住も？

おまけのおまけ IN 山村家







あとがき

この度は「俺だけのΩ」を手に取っていただきありがとうございます。

作者のもうのです。

この話は初めてオメガバースに挑戦した話でした。

それなのにΩからβに変わるという特殊設定にしてしまい

いろいろ悩みながら描きあげたのを覚えています。

結果的に二人を幸せにできて良かったなとほっとしています。

この話以外にも様々な話をツイッターやピクシブにアップしていますので、

遊びに来ていただけると嬉しいです。

またご縁がありましたらよろしくお願いいたします。

発行日：2022/09/04
発行者：もうの
連絡先：mouno0051@gmail.com
ツイッター：@mooooouno_n
表紙デザイン：吉川 夏子 様
印刷：株式会社栄光 様